

講座実施報告（FIC 会員向け）

講座名	受託事業 [みどりの教室 ～森の案内人をめざして～]		
開催日時	2025 4月 1日（火） 10時 ～ 15時		
開催場所	千葉市都市緑化植物園	一般参加者	18名

①活動概要（FIC 会員向けであることを意識して作成をお願いします）

今年度から始まった新受託事業です。指定管理者は日比谷アメニスです。一般市民を20名募集し12月までに9回講座を実施します。応募者は34名あったそうで、毎年人気があります。（初回は2名欠席者があり18名の参加でした。）講師はすべてFICが担当します。講座内容は座学、体験、野外です。

今回は初回なので午前中は以下の点について講義しました。

- ① 自然の楽しみ方
- ② 種々資格について（FICに受験支援セミナーも紹介しました）
- ③ 自然を楽しむための準備・持ち物など

その後1時間位で座学 [さくら 入門]を実施。
丁度桜が開花の時期と重なり、基礎的なお話をしました。

午後は園内散策を予定していましたが、終日雨になり雨バージョンの座学を実施した。。

講座タイトル [桜、さくら、櫻、サクラの物語]

稲作がはじまったころから現代にいたるまで、桜の目からみた日本の歴史をだどりました。
櫻、さくら、サクラ、桜の文字が使用される歴史も織り込みました。

時代ごとを象徴する桜の種類、利用百態、健康診断も解説しました。

8日の野外ではウコンの鑑賞できるコースを散策することもお伝えしました。

② 講座内容、運営で良かった点、今後にお勧めしたい点

参加者の求めているところが判らなかったの、自己紹介してもらって大勢がわかった。
参加者の自然に関するレベルもわからなかったの、説明をかねて全員にタラヨウを配ったり
講座中花の名前を質問をしてみて判断できた。

全体的に受講者の多くはタイトルにあるような資格を取るために申し込んだのではなく、自然に興味があり草木の名前を知りたいという動機でした。一部その資格取得の方向を目指すような参加者もおられました。

③講座内容、運営で反省する点、今後はお勧めできない点

なし

（FIC 参加者）

チーフ講師： 森池正典 オブザーバー： 坂本玲子